



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hovukai.org/>

発行:2012年8月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守



副看護部長就任より見えてきた課題

～変革元年、出来ることから始めよう！～

新中川病院 副看護部長 串田 央子

新中川病院へ入職したのが14年前のことです。きっかけは横浜ほうゆう病院前看護部長の片瀬さんに誘われての事でした。12年の看護科長職を経て、今年の5月1日付けで副看護部長に就任し改めて重責を感じております。3か月余が経過し今後の課題をあげてみました。

第一に、医療監視を終えて見えてきた課題

第二に、高齢者を支える優しい病院としての取組

初めての仕事は医療監視への取り組みでした。病棟科長としても経験していましたが、例年の重大行事として今年は、今までとは違い副看護部長・医療安全担当者として準備を進めました。提出用の書類を熟読することから始まり、マニュアルの読み込み・点検・改訂、一つひとつの見直し・現場の確認、関係部署との調整等・・・。

「監査までに間に合うだろうか？」不安は尽きませんでした。

無事に医療監視を終え、総務課を中心に各部署の協力を得て無事に終了したことに感謝し、改めて新中川病院のチームワークの素晴らしさを感じたりしています。

しかし、改善点も多く、出来ていると思っていた点が統一されてなかったり、実践されていることがマニュアル化されてなかったり、医療監視だけのために整理整頓や変更を行ったり多くの課題が見えてきました。今後は、普段実践していることが医療監

視へつながる現場づくりを目指し、「普段通り受けられる医療監視」へ、それは私に与えられた新たな課題だと感じております。

次に当院は職員一丸となり「高齢者を支える病院」「高齢者に優しい病院」を大切に取り組んでおります。高齢者が安心して頼れる地域に根差した病院です。「こんな近くにいい病院があるのを知らなかったわ」という家族からの嬉しい声を聴きます。そういう声を聴く度、知ってもらうために何か始めようと思う気持ちが一層強くなってきました。出来ることから始めてみよう、早速6月より在宅部門を中心に、院内で地域連携ミーティングを立ち上げました。9月には一回目の地域交流会を計画し動き始めています。結果が出るには時間がかかるとは思いますが、焦らず一つひとつ確実に積み上げていく覚悟です。

今年度は、新中川病院の変革の年として、幹部運営会議で各部署の年間目標を発表し半年ごとに評価・修正をしながら目標達成に向けて取り組み始めました。

看護部も看護部長・科長を中心に、日々起こるさまざまな事例をタイムリーに共有しながら患者・家族の希望に沿った「NOと言わない看護」に取り組んでいきます。今まで築きあげたことを糧に、更なるステップアップを職員一同で目指していきたいと思っております。

幹部研修会 開催

in 箱根



児玉 理事長

平成24年7月20日 - 21日、鵬友会の幹部職員に対する合同研修会が行われ、各施設の院長など総勢50名が参加。幹部としての意識の統一を図りました。

開会の挨拶では、児玉理事長が「この厳しい医療業界の中で、良い成績を上げていることは、皆様の普段の尽力の賜物。この調子で頑張ってもらえることを願っている」と感謝の意を述べました。

続く池島常務理事の講義では、医療・介護の同時改定の要点について触れ、日本の人口推移や国策の方向性（2025年計画）を示し、「この医療・介護の大きな流れを常に頭に入れておいてほしい」と強調。さらに後半には幹部職員に期待することとして、部下を育成する際の6つのポイントを挙げ、「600名もの職員がいる今、施設を良くするも悪くするも皆さんの腕にかかっている」と幹部職員を鼓舞しました。



池島 常務理事

◆各病院長、施設長の言葉



福田 院長

◆新中川病院【一般・療養病床を持つ高齢者専門病院】：福田院長

『危機管理意識』と『経営感覚』をもっと磨いてほしい。競争が激化している医療業界の中で、組織から選ばれた人として何百人もの従業員の雇用を守るという責任と自覚を持って、今後もより一層の努力を期待したい。



日野 院長

◆横浜ほうゆう病院【認知症専門病院】：日野院長

①認知症専門病院としての自覚と行動②病院機能評価受審への準備③前年度と同様かそれ以上の利益を目指す この3つが今年度の目標。また、身近型認知症疾患医療センターや医療保護入院の見直しを受け、初期の認知症への対応にも力を入れていきたい。



末盛 施設長

◆阿久和鳳荘【介護老人保健施設】：末盛施設長

当施設の現状は重症患者が多く、病院と在宅の中間施設であるという老健本来の役割とは程遠い。また、今回の在宅重視の改定で点数自体が下がっており、他の加算の取得や在宅復帰にいかに関与できるかが焦点となる。法人内の3病院と円滑に連携していきたい。

第18回 市民向け医療・福祉講座 開催します！

テーマ：『認知症の薬について』

◆日時：10/20（土） 16:00～18:00

◆場所：横浜ほうゆう病院 デイケア内 <横浜市旭区金が谷649-12>

◆定員：100名（予約制／定員になり次第終了となります）

参加費は無料です。お申し込み・お問い合わせは下記担当まで

法人本部 福島 ☎045-810-0331／横浜ほうゆう病院 栗原 ☎045-360-8787

